

今日も、晴れて気持ちがいいです。また、登校後に校長室前の「校長の問い」が解け、遠くから「校長先生〜」と呼んでくれた2年女子Oさんの声に、嬉しさがこみ上げ、ますます元気となりました。

以下は、先日の校内研修会の冒頭、校長言葉用に作った資料「現場一筋④」内容です。

- 25 校内研修主題 ☞ 学校の学びに対する構え（方向性）の濃淡が分かる
- 26 「出会い」を成功させる三つの原則（冷泉彰彦氏：アメリカ在住作家）
 - 出会いとは対等
 - 常に相手に「ナイス」にする
 - 必要な情報を十分に交換して相互理解に努める
- 27 7月1日から免許更新制が発展的解消となる
 - ☞ 教師が、自ら主体的に能動的な学びの場をつくる（教師力向上に意味ある場）

◆教職研修5月号の特集1の「柏木智子教授（立命館大学）」のお話から

- 28 校内研修のテーマ ☞ 子どもの生と学びを支える基盤となるテーマ設定が重要
- 29 学校の意義 ☞ 格差社会を改善し、社会の分断を防ぎながら、孤立する子どもを減らし、すべての子どもが「生まれてきてよかった」「ここにいると安心できる」と思える空間を提供する。
- 30 授業 ☞ 逆境を乗り越える力やケアする能力を育成する必要がある
- 31 逆境を乗り越える力 ☞ 自身の置かれている状態を認識し、援助要求を出せるようにすること、そして社会の問題構造を見出す批判的思考を身につけ、社会に参加できるようになる力。
- 32 ケアする能力 ☞ 自他に関心と共感をもって、自他のニーズに気づき、それに応答する力。（つまり、自分や仲間に関心をもって寄り添い、困りごとに気づき、それに対して何かしら応えようとする力）
以上、柏木先生、ありがとうございます。
- 33 5月病予防 ☞ 教員自身の「ゆとり」は必須 ・ 「笑顔」to「笑顔」の校内
◎ウェルビーイング井波中（誰もが幸せを感じられる空間）づくり
- 34 「教育実践における柱」をもつ ☞ 気概（私の実践論文「終わりに」頁参照）